令和8年9月7日（月）　日本海新聞

トークサロン

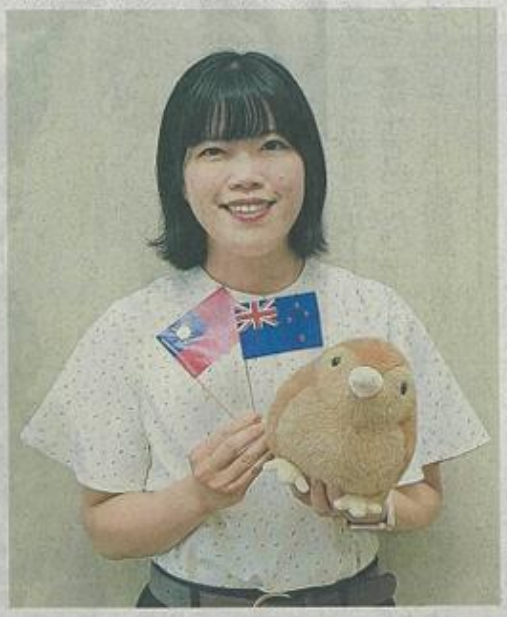
国際交流 力になりたい

楽しく学び英語に興味を

新温泉町学校支援員

マ・シンディ・ユーシンさん（37）

（新温泉町芦屋、台湾出身）



新温泉町内の小学校の外国語指導助手（ALT）を経て、2024年から同町の学校支援員を務める。台湾とニュージーランド（NZ）での居住経験を生かして、町内の英語教育や国際交流などに貢献している。「少しでも英語の勉強は楽しいという気持ちになってもらえたらうれしい」と英語教育への思いを語る。

◇　◇　◇

生まれは台湾で中学生の時にNZに移住しました。オークランド大で会計やプログラミングなどを学び、卒業後はIT会社に5年ほど勤務。何度か旅行で訪れた日本が好きになり、生活してみたい、文化をもっと知りたいと思い、外国青年招致事業（JETプログラム）に申し込みました。2018年にALTとして来町。24年までに町内の全小学校を回りました。勉強だけでなくゲームを通じて、英語に興味を持ってもらう授業を心がけました。

◇　◇　◇

学校支援員としては、英語授業のほかに国際交流の支援や浜坂高の台湾への修学旅行の事前学習と引率などに取り組んでいます。

新温泉町では、中学校はNZ、高校は台湾と交流しています。私は台湾生まれで、NZにも住んでいたので、運命みたい。もっと国際交流の力になれたらいいなと思っています。

夏休みには中学生のNZ研修に帯同。生徒にとっては人生が変わるくらいの経験です。初日は飛行機の客室乗務員と話すことを怖がっていた生徒たちが、現地で1人で買い物できるようになるなど、10日間で本当に成長しました。

◇　◇　◇

新温泉町の魅力はみんなが優しいところと、ゆっくりできる環境。歴代のALTも言っていると思いますが、日本海の景色がすごくきれいです。

台湾の魅力は「ルーローハン」や「タピオカ」などの食べ物。台湾の人にとってはおいしいけど、日本人は多分食べられない「臭豆腐」もあります。NZは夜空の星や自然がすごくきれい。登山やスキー、マリンスポーツなどアウトドアの活動が多いです。ぜひ行ってみてほしいです。

（安部航太）